

簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）に係る手続開始の公示
（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く））

次のとおり指名競争入札参加者の選定の手続を開始します。

令和8年2月27日

分任支出負担行為担当官

四国地方整備局 松山河川国道事務所長 齧島 洋伸

1. 業務概要

(1) 業務名 令和8年度 松山用地調査点検等技術業務（電子入札及び電子契約対象案件）

(2) 業務内容 本業務は、松山河川国道事務所において施行する事業に必要な土地等の取得等に伴う用地調査等業務に係る進捗状況を確認するための工程管理補助、調査書等の点検・調製確認、用地関係資料の作成及び現地確認調査に関する業務を請負に付するものである。

主な業務内容は以下のとおりである。

- ・用地調査等業務の工程管理補助 一式
- ・調査書等の点検・調製確認 一式
- ・用地関係資料の作成 一式
- ・現地確認調査 一式

(3) 本業務の履行箇所

本業務の履行箇所は下記のとおりである。

- ・一般国道11号川之江三島バイパス（四国中央市金生町及び上分町地内）
- ・一般国道11号新居浜バイパス（新居浜市東田三丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目、土橋一丁目、本郷一丁目、船木及び西喜光地町地内）
- ・一般国道11号小松バイパス（西条市小松町新屋敷地内）
- ・一般国道33号松山外環状道路インター東線（松山市北井門、北土居、今在家及び来住町地内）
- ・一般国道56号松山外環状道路空港線（松山市余戸南地内）
- ・一般国道11号交通安全施設（入野歩道）（四国中央市土居町入野、土居及び中村地内）
- ・一般国道11号交通安全施設（小松歩道）（西条市小松町新屋敷地内）
- ・一般国道56号交通安全施設（大平歩道）（伊予市大平地内）
- ・一般国道33号維持修繕（日野浦防災、中黒岩防災）（愛媛県上浮穴郡久万高原町日野浦及び中黒岩地内）

(4) 履行期間 契約締結日の翌日から令和9年3月31日まで

- (5) 本業務は、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の業務である。また、予定価格が1,000万円を超える場合には、予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第85条の基準に基づく価格(以下「調査基準価格」という。)を設定するものとし、技術提案の確実な履行の確保を厳格に評価するため、技術提案の評価項目に新たに「履行確実性」を加えて技術評価を行う試行業務とする。
- なお、予定価格が100万円を超え1,000万円以下である場合には、品質確保の観点から品質確保の基準となる価格(以下「品質確保基準価格」という。)を設定するものとし、技術提案の確実な履行の確保を厳格に評価するため、技術提案の評価項目に新たに「履行確実性」を加えて技術評価を行う試行業務とする。
- (6) 本業務は、提出資料、入札等を原則として電子入札システムで行う対象業務である。
- (7) 本業務は、「低価格受注業務がある場合における予定主任担当者等の手持ち業務量の制限等」の試行業務である。
- (8) 本業務は、技術提案書の評価にあたり、ヒアリングを省略し書面のみで評価を実施する契約手続きの短縮を図る試行業務である。
- (9) 本業務は、契約手続きにかかる書類の授受を、原則として電子契約システムで行う対象業務である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、落札決定後に発注者に紙契約方式選択書を提出し紙方式(契約)に代えるものとする。
- (10) 本業務は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加減点を行う業務である。
- (11) 本業務は、企業及び技術者の資格、経験及び能力等に係る各項目の自己評価を参考資料として参加表明書に添付して提出を求める試行業務である。
- (12) 本業務は、賃金等の変動に対処するための試行業務である。

2. 指名されるために必要な要件

(1) 入札参加者に要求される要件

本入札手続への参加を希望する者は、参加表明書を提出しなければならない。なお、参加表明書の提出者は、次に掲げる資格を満たしている単体企業であること。

- 1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- 2) 四国地方整備局(港湾空港関係を除く。)における令和7・8年度一般競争(指名競争)参加資格のうち補償関係コンサルタント業務の認定を受けている者であること。
- 3) 参加表明書の提出期限の日から開札の時までの期間に、四国地方整備局長から地方支分部局所掌の建設コンサルタント業務等に関して指名停止を受

けている者でないこと。

- 4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（更生手続開始又は再生手続開始の決定がなされた者を除く。）でないこと。
- 5) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- 6) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（入札説明書参照。）。

なお、本業務に参加表明書を提出した者の間に資本関係又は人的関係がある場合には、当該資本関係又は人的関係がある全ての者を指名しない。

(2) 業務執行体制に関する要件

参加表明書を提出する者は、四国地方整備局管内に営業拠点を有する者でなければならない。

(3) 同種又は類似業務の実績

下記1)若しくは2)の実績を有すること。

- 1) 同種業務：補償コンサルタント登録規程（昭和59年9月21日建設省告示第1341号。以下「登録規程」という。）第2条第1項の別表及び補償コンサルタント登録規程の施行及び運用について（令和6年12月24日付け国不用第34号。以下「運用について」という。）の記1の別紙に定める土地調査部門、物件部門、機械工作物部門、営業補償・特殊補償部門及び事業損失部門の全ての業務（複数の業務実績において5部門の実績がある場合を含む。）又は用地補償総合技術業務若しくは用地調査点検等技術業務のいずれかの業務
- 2) 類似業務：登録規程第2条第1項の別表及び運用についての記1の別紙に定める土地調査部門、物件部門、機械工作物部門、営業補償・特殊補償部門又は事業損失部門のいずれかの業務。

(4) 配置予定主任担当者に対する要件

配置予定主任担当者が必要とされる同種又は類似業務の実績は、(3)に示す実績を有すること。

(5) 入札参加者を選定するための基準

四国地方整備局建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領に定める指名基準による。なお同基準中の「当該業務における技術的適性」については、登録規程に基づく登録状況、同種又は類似業務の実績、配置予定技術者の資格、業務の経験、手持ち業務等を勘案するものとする。

3. 総合評価に関する事項

(1) 落札者の決定方法

- 1) 価格及び技術等に関する資料をもって参加した入札者について、入札価格が予決令第98条において準用する予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内である者のうち、下記(2)総合評価の方法によって得られた数値(以下「評価値」という。)の最も高い者を落札者とする。なお、予定価格は設計図書に基づき算出するものとする。

ただし、国の支払の原因となる契約のうち予定価格が1,000万円を超える請負契約について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- 2) 評価値の最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決める。
- 3) 落札者となるべき者の入札価格が調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の規定に基づき調査を行うものとする。
- 4) 品質確保基準価格の算出方法は、調査基準価格に準じて算出するものとする。

(2) 総合評価の方法

- 1) 評価値の算出方法

評価値の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{評価値} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

- 2) 価格評価点の算出方法

価格評価点の算出方法は、以下のとおりとする。

なお、価格評価点の配分点は60点とする。

$$\text{価格評価点} = (\text{価格評価点の配分点}) \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

- 3) 技術評価点の算出方法

技術等に関する資料の内容に応じて、下記 a)、b) 及び d) の評価項目毎に評価を行い、評価に応じた得点を与える。

ただし、調査基準価格又は品質確保基準価格を設定する場合においては、c) の項目評価を行い、評価に応じた得点を与える。

- a) 配置予定技術者の経験及び能力
- b) 実施方針等
- c) 技術提案の履行確実性
- d) 賃上げ評価点

上記の技術評価の得点を以下のとおり算出し、技術評価点とする。

なお、技術評価点の配分点は60点とする。

$$\text{技術評価点} = (\text{技術評価の配分点}) \times [(\text{技術評価の得点合計}) \div (\text{技術評価の配点合計})]$$
$$\begin{aligned} \text{技術評価の得点合計} = & (\text{a) に係る得点}) + (\text{技術提案の得点}) \\ & \times (\text{c) 技術提案の履行確実性度}) \\ & + \text{d) に係る得点} \end{aligned}$$
$$\text{技術提案の得点} = (\text{b) に係る得点})$$

4. 入札手続等

(1) 担当部局

〒790-8574 愛媛県松山市土居田町797-2

四国地方整備局 松山河川国道事務所 経理課 契約係

電話 089-972-0035 (直通)

(2) 入札説明書の交付期間及び交付方法

令和8年2月27日から令和8年4月8日までの閉庁日を除く午前9時00分から午後6時00分まで

電子入札システムから入札説明書等ダウンロードシステムにより配布する。

電子入札システムのURLは次のとおりである。

<https://www.e-bisc.go.jp/>

(3) 参加表明書を提出できる者の範囲

参加表明書を提出する時において、2.(1)2)の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けている者とする。

(4) 参加表明書の受領期限、提出先及び提出方法

令和8年2月28日から令和8年3月10日までの閉庁日を除く午前9時00分から午後5時00分まで(最終日は午後4時00分まで)に、原則として電子入札システムにより提出すること。

(5) 技術提案書の受領期限、提出先及び提出方法

令和8年3月20日から令和8年3月30日までの閉庁日を除く午前9時00分から午後5時00分まで(最終日は午後4時00分まで)に、原則として電子入札システムにより提出すること。

(6) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、原則として電子入札システムにより提出すること。

入札書の提出期限は、令和8年4月8日午後4時00分までとする。

なお、入札書の受付開始は、上記入札書の提出期限の日の前日(閉庁日を除く。)の午前9時00分からとする。

開札は、令和8年4月9日午後1時30分 四国地方整備局松山河川国道事務所入札室にて行う。

5. その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金及び契約保証金
 - 1) 入札保証金 免除
 - 2) 契約保証金 免除
- (3) 入札の無効
本公示に示した指名されるために必要な要件を満たさない者のした入札、参加表明書に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (4) 手続における交渉の有無 無
- (5) 契約書作成の要否 要
- (6) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4.(1)に同じ。
- (7) 技術提案書（履行確実性の審査に必要な部分に限る。）のヒアリング等を実施するとともに、ヒアリング等に際して追加資料の提出を求めることがある。
- (8) 指名通知日
本業務における指名通知日については、令和8年3月19日とする。
- (9) 本案件に係る落札決定は、令和8年度の予算成立及び財務大臣による実施計画の承認及び予算の示達がなされたことを条件として、電子入札システム等により通知する。
- (10) 暫定予算となった場合は、本案件に係る予算が全額計上されている場合には全額の契約とするが、全額計上されていない場合には、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする。
- (11) 成立する予算の状況により、本案件の入札契約手続きを延期又は取り止める場合がある。
- (12) 詳細は入札説明書による。